

むつ市地域おこし協力隊活動状況報告書

むつ市長 宮下 宗一郎 殿

隊員氏名 小池 拓矢

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2022年6月分】

1. 実施した活動の概要・状況

6月は5月に引き続き、「親子でイルカウォッチング」やかわうち・まりん・びーちの清掃活動、川内町漁協と協力して行った「陸奥湾ほたて養殖教室」などのイベントを精力的に行った。また、川内町の活性化を図るために設立された任意団体『Reborn かわうち』の副委員長の役をいただいたため、今後はさらに地域との交流を深めながら活動を進めていきたい。最後に、今年度は初開催となる青森県主催の地域おこし協力隊研修会にも参加し、他の地域の協力隊員と交流することができた。

（主な活動）

◇6月12日（日） かわうち・まりん・びーち クリーンアップ Day 2022

昨年度に引き続き、今年度もかわうち・まりん・びーちの海開き前の清掃活動を行った。当日は50名以上の方にご参加いただき、海洋ゴミだけでなく打ちあがったアマモの処理も行った。回収したゴミの量は昨年度よりも多く、漂着したのではなく、その場で捨てられたようなゴミも散見されたため、より注意して海での活動を行っていきたい。

清掃活動終了後は参加者の方にカヤックやSUPの体験もしていただき、海への興味をより深めてもらう活動になった。



◇6月26日(日) むつ湾ホタテ養殖教室～海と日本プロジェクト～

日本財団海と日本プロジェクトの助成事業の一環として、川内町の特産品であるホタテの養殖の講座やほやし体験、試食会などを親子の参加者に対して行った。本来は船に乗ってホタテ養殖施設の見学を行う予定だったが、時化のため、事前に撮影した映像等を参加者に見てもらった。ほやしに夢中になる子供たちの姿が印象的で、地元の食材についての理解を深めるための事業は今後も継続して行っていきたい。



◇各学校・地域団体の体験学習講師

9日は大湊高校2年生、10日はボランティアむつの会、17日は第一田名部小学校4年生が体験館を訪れ、体験学習を行った。各団体の参加者には地域おこし協力隊の活動や陸奥湾の特徴などを説明して理解を深めてもらった。

昨年度はこのような講座を受けた後に、家族と体験館を訪れる方が何人もいたため、今後も自然や生き物への興味を持つきっかけの活動として、受け入れる数を増やしていきたい。



2. 翌月の活動予定

体験学習の受け入れを行うとともに、8月、9月の企画展やイベントに向けた準備を進めていく。7月22日には海開きとなるため、今まで以上に体験館の利用を促進していきたい。

7月3日 青森県教育委員会 若者育成事業 第1回ワークショップ

7月9日、10日 日本セーフティーパドリング協会 ベーシックインストラクター検定会